

入学式にお聞きすることができなかった来賓のお話もご紹介します。

(森下 裕町長・お祝いの言葉)

本日、晴れて入学されました新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスによって、入学式が遅れてしまいました。今しばらくは、登校日を設けて登校することになります。全国の国民全員が、コロナウイルス撲滅に向けて頑張っております。中学生諸君も定められた非常事態宣言を守って、家庭内では規則正しい生活をお送りいただきしたいと思います。コロナウイルスが沈静化しましたら、明るく元気に、笑顔いっぱい学校生活を楽しみましょう。

(岩本真吾PTA会長・お祝いの言葉)

今日この日を迎えられた70名の皆様、本日は誠におめでとうございます。PTAを代表いたしまして、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。さて、新入生のみなさん、今、どんな気持ちですか？実は、私自身もこの学校の卒業生であり、皆さんと同じように25年前に入学した頃のことを思い出しました。今の皆さんもきっとそうだと思いますが、期待と不安の入り混じった気持ちでこの入学式を迎えられたことと思います。中学校の生活は教科ごとに先生が変わり、様々な部活動もあります。小学校とは違った環境になりますが、少しずつ生活に慣れていただきたいと思います。勉強や部活をしなければいけないからするのではなく、自分の夢や目標を達成するために励んでいただきたいと思います。これからの三年間は小学校の半分しかなく、あっという間に過ぎていきます。三年後の春、皆さんが卒業される時に充実した三年間だったと振り返ることが出来るように、一日一日を大切に過ごしてください。皆さんの頑張りを心から願い、応援していきたいと思っています。最後になりますが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、本日は新入生のためにこのような素晴らしい式をご用意いただき、有り難うございます。また、ご来賓、保護者の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席を賜り、誠に有り難うございました。子供達の健やかな成長のために今後とも温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。本日は誠におめでとうございます。

学年別登校日が始まりました。感染を防ぎながら登校を進めたいと思います。

学校がぼちぼち始まるのはよいけれど、本当にコロナウイルスに感染しないのか心配だと思われる保護者の方も多いいと思います。心配されて当然です。そのような中、今できることを徹底しようということで、基本的な対策として、以下のようなことに取り組んでいます。

(1) 感染源を絶つために

□生徒、職員とも健康観察を徹底し、体調の悪いとき(37.5度以上の発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛など)

は自宅で休養する。**「元気」以外は自宅療養→息苦しさ・強いだるさ→医療機関→陽性→休校の検討**

□生徒や職員の体温が37.0度以上の場合、保健室で再度検温を行い、養護教諭が様子を見て判断する。

□濃厚接触者と判明した場合には、職員は2週間出勤しない。生徒は出席停止扱いとする。

□学校外でも当面の間、3条件(①換気の悪い密閉空間、②手の届く距離に多くの人が密集、③近距離での会話や発声)が揃う場面には近づかない。不要不急や夜間の外出を避ける。

(2) 感染経路を絶つために

□石けんによる手洗いをこまめに行う。(登校時、下校後など)

□常にマスクを着用する。

□放課後、ドアや手すり、机、イスなどを職員で消毒する。

□バスの窓が開けば3cm程度開ける。できるだけ一人がけて座る。保護者による送迎の希望があれば認める(乗り合いは自粛していただく)。

□登校後と下校前、生徒玄関周辺で密集することを避ける。立ち止まらずに教室や自転車小屋などへ向かう。

□登校後の石けん手洗いや健康観察を、各学級担任が教室で指導する。

□常時換気を行う。(対角線上の窓を広く開ける)

□トイレは時間と場所をずらして使用する。

□教室内では、端から端までを使って最大限の間隔をとれるように机やロッカーなどを配置する。

生徒が帰った後、職員終礼を行い、他にできることはなかったか、もっと効果的なやり方はなかったか、と振り返りをしています。2週間前の自粛の成果として登校できることに感謝しつつ、一日一日と実績を積み重ねることが、新型コロナウイルスの感染予防と学校生活の継続の両立を可能にさせると考えます。

こうしている間にも集中治療室で必死にウイルスと闘っている患者さんとその命を救おうと自身の感染の危険を顧みず治療をしてくださっている医療関係者がおられます。そのことを思えば、私たちが少しずつ我慢して、よく考えて、適度な距離間を保つことなど簡単なことです。そう生徒達にも話していきたいと思っています。